





アマメハギ

アマメとは、囲炉裏や火鉢に長くあたっていると足にできる火だこ(アザ状の痕のこと)で、これがあると怠け者といわれます。 それを包丁やノミなどではがすのがアマメハギです。

この行事には、耕作が始まる春を前に、農民の冬季間に見についた怠け心を戒めようとしたのがルーツとされています。